



登り藤

令和 8 年 1 月 8 日 (木) 発行
令和 7 年度 第 11 号
江戸川区立南葛西第二中学校

令和 8 年、開校 40 周年の年を迎えました

校長 古澤 浩一

令和 8 年を迎える、1 月 8 日の 3 学期始業式から南葛西第二中学校の本年の教育活動が始まりました。本年は昭和 61 年（1986 年）4 月 1 日に開校した本校にとって、開校 40 周年を迎える一年となります。

本日の始業式では、生徒には「新年の抱負」について問いかけるとともに、目標に向かた「スマーチステップ」として「いつまでに」「どのように」「どれだけ」「どうやって」等を考えて取り組むことの大しさと、目標達成には『5W1H』という「When (いつ)」「Where (どこで)」「Who (だれが)」「What (なにを)」「Why (なぜ)」「How (どのように)」を意識して計画をたてたり、話し合ったり、合意したりということも大切であると語りかけました。この一年の一日一日をより大切に、自他の幸せのために歩んでほしいと願っています。

さて、令和 8 年（2026 年）は「十干十二支」でみると「丙午（ひのえうま）」という年になります。前回の丙午は 60 年前（昭和 41 年）ですが、この年の日本の出生数は前年比 25% 減の 136 万人余だったそうです。昨年（2025 年）の出生数の推計値は 66 万人台ですから、世代人口はかなり減ったことになります。120 年前は明治時代で、まだ葛西村と呼ばれていました。そして、180 年前は江戸時代で、おおよそ弘化 3 年になりますが「江戸三大洪水」のひとつが起きた年。葛西も水浸しになったそうです。

ちなみに、40 年前の昭和 61 年は「ハレー彗星」が回帰してきた年でもありました。次回の再接近は 2061 年ということになります。歴史や天文学などとつなげて、今年を捉えてみるのもいいですし、「丙」が西暦年の下一桁が 6 の年。「午」が西暦年を 12 で割って 10 が余る年・・・と考えると、ちょっとした数学の問題にもなってきそうです。

60 年後（2086 年）の皆さんのが開校 100 周年の年にどのように振り返る一年になるのか、それはこの一年を歩む一人一人にかかっています。そのためにも決意を新たにし、よい目標をもってスタートできるとなによります。

この 13 日間の冬休みには、生徒それぞれに学習に取り組んだり、年末年始なりの経験・体験をしたり、しっかり休養をしたり、個々に歩みを進めたことと思います。

今日から始まった 3 学期は、さまざまな行事を経て、進路・進級につながる密度の濃い日々になることでしょう。

本年も、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、南葛西第二中学校の教育活動へのご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。



◇ 学級閉鎖等について

昨年末には欠席者の増加により、学級閉鎖・時間短縮・部活動休止の措置をおこなった学年・学級がありました。

学校保健安全法及び学校保健安全法施行規則には、「校長は、感染症にかかるており、かかっている疑いがあり、又はかかるおそれのある児童生徒等があるときは、政令で定めるところにより、出席を停止させることができる」「学校の設置者は、感染症の予防上必要があるときは、臨時に、学校の全部又は一部の休業を行うことができる」とされていますので、欠席状況等をもとに弾力的に判断をすることとなります。その都度、江戸川区教育委員会・学校医等と協議をおこない、対応をとらせていただきます。その際は、totoru 等でお知らせします。

各措置を実施した場合には、保護者の皆様のご理解・ご協力をいただくこととなります。感染拡大防止のため、引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。



学校保健安全法

◇「チャレンジ・ザ・ドリーム」について

1月21日（水）より1月27日（火）まで、学校近隣を中心とした企業・事業所等に、本校の2年生が「職場体験」として訪問し、学ばせていただきます。

生徒の受け入れにあたっては、制限や制約が多くある中、さまざまにご配慮をいただいていることに恐縮するとともに、ご快諾をいただきました皆様に深く御礼を申し上げます。

また、細菌検査等が必要な事業所等、配慮を要する事業所で活動する生徒の保護者の皆様には、ご理解・ご協力をいただきましたことに感謝いたします。

江戸川区教育委員会では、「職場体験を通して、多くの方々と触れ合い、コミュニケーション能力や社会性及び思いやりの心等の道徳性を身に付ける」「様々な生き方に触れることにより、自分の将来を考える機会とする」「発達段階に応じて、望ましい勤労観・職業観を持ち、自らが進路を選択・決定していくことに必要な能力・態度を身に付ける」ことを目標に据え、教室を離れ、実際に地域・社会のために働く方々の姿を間近に見て学び、自らの将来や地域の未来を考える機会としていくものです。

事前指導、事後指導を含め、自らの進路を考える上で重要な5日間になり、有意義な成果・手応えを得ることができるように、学年団で工夫して指導にあたっているところです。

次年度以降も原則として連続した3日間以上の受け入れについて、時機を見てご依頼させていただくこととなるかと存じます。今年度までにご対応いただいている方々はもちろん、本校生徒に学びの場を提供していただける企業・事業所等がございましたら、お知らせいただけますと幸いです。

◇都立高校入試について

年末から都立高校の入試にかかるインターネットでの手続きが進んでいます。保護者の皆様には、日頃から励まし、働きかけていただいていることに感謝いたします。

東京都教育委員会は、生徒一人一人の能力や特性、興味・関心、進路希望等に応じて学ぶことができるよう、既設の学校の特色化や多様なタイプの都立学校の開設を進めてきています。スピーキングテストの導入や男女別定員の廃止なども含めた改革が進む中、応募倍率も含めて、毎年の変動・変容があります。

この流れは各企業の採用動向や私立高校の入学試験にも影響を与えており、最新の情報や動きにアンテナを高くして進路選択に臨んで欲しいと願っています。

1・2年生も、早めに自分の進路をイメージするためにも、自分で情報を取捨選択し、自らの将来を考えしていく機会としてほしいと思います。

40年前の「南葛西第二中学校」

＜南葛西第二中 いまむかし＞

昭和61年（1986年）4月1日の開校を前に、いまの標準服は入学予定者を含めた投票で定められました。9月に校章・10月に校歌が定まって11月11日の施設完成開校記念式典を迎えたことが学校の沿革に記録されています。ちなみに、いま「新校舎」と呼んでいる増築部分が完成したのは、平成5年（1993年）3月になります。

昭和61年4月7日に2年生76名が入校、4月8日には1年生113名が入学して、初年度の生徒は189名だったとのこと。翌年4月の第2回入学式で99名が入学して3学年が初めて揃うことになります。40年目の1月の生徒数は約260名。卒業生だけで250名を超えた年度もあることを考えると少ない事にはなりますが、開校当時とほぼ同じ規模で40年目の一年が始まったことになります。開校当時の方々の思いや願いを思い浮かべ、未来へ引き継ぐ一年になることだと思います。

1月の主な予定(再掲)

8日(木)始業式・安全指導	21日(水)チャレンジ・ザ・ドリーム(職場体験)[2年]始
9日(金)給食始	23日(金)～26日(月)中学校合同作品展
13日(火)全校朝礼・専門委員会	27日(火)チャレンジ・ザ・ドリーム(職場体験)[2年]終
15日(木)ダンスチャレンジ・中央委員会	30日(金)1年生校外学習
19日(月)生徒会朝礼	*1月中のいずれかの日に避難訓練(予告なし)を実施予定です
20日(火)江戸川区書き初め大会	2月2日(月)全校朝礼

※本校ホームページも随時更新しています。ぜひ本校生徒の活躍の様子をご覧になってください。 ➡

